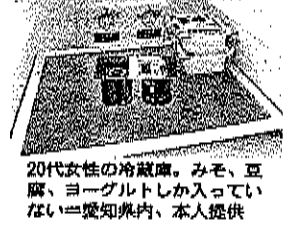


秋 値上げラッシュ

来月50品目年6.8万円増 低収入ほど影響大きく

物価高騰が続く中、10月からの最近の食品で今年一番の値上げラッシュを迎える。社会保障分野でも負担増となる制度の見直しが進む。その一方で、働き手の購買力を支えらる「実質賃金」は昨年を下回り、年金も減額されている状況。来月にならば家計圧迫を恐ろしい。

「うーん、高いなあ」
28日、愛知県内のスーパーの野菜売り場で20代の女性に話しかけた。
「おなじものは本30円だった。スーパーのポイントを貯めよう。買えそうだな。豆油と揚げも一緒に買おうか。これに入れた。現金をばらばらにばらばらで買った。女性は福排関係のパートで生計を立てている。月収15万円前後で家族が5万円以上。税金や持ち帰り代が引かれると残りはわずか。元々家計が余裕はなかった。タマネギ、キャベツ、冷感食品……。スーパーの商品は値上げが頻りに。冷感車はスツカラカン。水は買わずに水道水を口に。食糧を節約し、1日1食、スナック菓子だけでやり過ごしてはいる。物価高騰は生活に影を落とす。女性は苦笑いをする。



20代女性の冷蔵庫。みそ、豆腐、ヨーグルトしか入っていない。愛知県内、本人提供

10月から値上げラッシュ

- チーズ値上げ**
明治や森永乳業。希望小売価格を4.8~15.5%
- マヨネーズ値上げ**
キューピー味の素。キューピーの定番品(450g)の参考価格は39円引き上げ
- ビール系飲料値上げ**
アサヒやキリン、サントリー、サッポロ。想定価格は4~13%
- 回転すし値上げ**
スシローやくろ5券用。110円の皿を取りやめ。スシローは120円、くろ5券別は115円に
- 最低賃金を引き上げ**
都道府県ごとに改定し、30~33円引き上げ。全国加盟平均は31円増の961円に
- 雇用保険料率を引き上げ**
労働者と企業の負担がそれぞれ0.251上昇。労働者の料率は0.5%に
- 「男性産休」始まる**
産休とは別に、子どもが生まれて8週間以内に4週間まで取得できる。2回まで分割も
- 高所得世帯への児童手当を一部廃止**
10月支給分(8~9月分)から高所得世帯への特別給付(月5千円)の対象を縮小
- 75歳以上の窓口負担に「2割」導入**
一定以上の収入がある人は患者負担1割が2割に
- 紹介状なしの大病院受診で2千円負担増**
紹介状を持たずに大病院を受診したときの定額負担(初診)が5千円以上から7千円以上へ増額

平均かた。切り詰めにも限界がある。今の家を引き抜くことも考え始めている。生活に最近の食品の値上げが家計を圧迫している。10月からはマヨネーズ、キリン、サントリー、サッポロのビール大手4社、さらさらってビール系飲料や缶チューハイの価格を上げ、4社が併せて1.1を値上げするの14社あり。5,000リットル前後のペットボトル飲料をとおすと四半世紀前より値上げする会社もある。日本ハムは8月、伊藤ハムと米入は8月に値上げ。△△米入は8月に値上げ。△△米入は8月に値上げ。△△米入は8月に値上げ。

の負担は月平均約5,700円。年に6万8,000円増えるという。軽減後の家計調査を使い、2人以上の世帯について算出した。1年の負担額のうち、4割増の3万7,200円を占めるのが冷凍食品やハム、ソーセージ、缶詰などの加工食品だ。8,000円増が最も多い。値上げ率は平均16%。8,000品目が上がる「酒類・飲料」の1万4,400円、1,300品目が上がる「菓子」の7,000円が響く。収入の低い世帯ほど影響は大きくなりそうだ。年収100万円以上の世帯で年8万9,100円となり、年に使うお金の1.7%分。これを対して200万円未満の世帯では、負担額が5万1,400円と小さくなる一方、支出に占める割合は2.8%と高くなった。

高所得者から減額世代、子育て世帯まで。10月からの制度見直しでは、幅広い世代に様々な負担がかかる。年金が減り、物価高騰も響く。生活は決して楽ではない。高所得者から低所得者まで、負担が増える。高所得者から低所得者まで、負担が増える。高所得者から低所得者まで、負担が増える。

「会社を辞めて大卒の生活費を稼ぐ」でも値上げを我慢を待たないという。燃料や食料などの高騰を背景に、昨年から広がり始めた値上げの波は今年に入って勢いを増している。ロシヤによるウクライナ侵攻が原油価格を押し上げ、食料の高騰も顕著な状況だ。値上げは今年に入って勢いを増している。ロシヤによるウクライナ侵攻が原油価格を押し上げ、食料の高騰も顕著な状況だ。値上げは今年に入って勢いを増している。

医療費・雇用保険は負担増 社会保障見直し不可避

一人あたりの医療費は70~74歳で年60万円以内の74歳で75歳以降になると1.5倍の88万円に増加。2025年に団塊の世代年金が75歳以上となるため、医療費の増加は大きな負担となる。政府は高齢者にも負担増を求め、限られた資源の効率的な活用が急務だとしている。

高所得者から減額世代、子育て世帯まで。10月からの制度見直しでは、幅広い世代に様々な負担がかかる。年金が減り、物価高騰も響く。生活は決して楽ではない。高所得者から低所得者まで、負担が増える。高所得者から低所得者まで、負担が増える。高所得者から低所得者まで、負担が増える。

高所得者から減額世代、子育て世帯まで。10月からの制度見直しでは、幅広い世代に様々な負担がかかる。年金が減り、物価高騰も響く。生活は決して楽ではない。高所得者から低所得者まで、負担が増える。高所得者から低所得者まで、負担が増える。高所得者から低所得者まで、負担が増える。